

# Hatohol 16.01

## ARMテンプレート

### 簡易マニュアル

## 1 はじめに

本テキストは監視統合ツール「Hatohol」をMicrosoft Azureへデプロイする手順とMicrosoft Azureのリソース監視機能の情報をHatohol上に通知するための手順を示す。

## 2 ARMテンプレートのデプロイ

ARM(Azure Resource Manager)テンプレートとは、Microsoft Azureのリソース情報をJSON形式のテキストとして記録し、Azure上へのデプロイを容易にするものである。本手順ではMIRACLE LINUXが提供するARMテンプレートの展開手順を示す。

### 2.1 Azureへのログイン

MIRACLE LINUXのイベントページ(<https://www.miraclelinux.com/lp/hatohol-on-azure>)よりデプロイ用URLを取得し、そのURLをWEBブラウザを使用して表示する。Azureのログイン画面が表示されるので、有効なサブスクリプションを持つAzureアカウントでログインする。



## 2.2 デプロイ情報の入力

ログインするとARMテンプレートのデプロイ画面が表示されるので必要項目を入力する。  
入力項目は以下である。

### パラメータ

NEWSTORAGEACCOUNTNAME	デプロイ先のストレージアカウント名
LOCATION	デプロイ先のリージョン(プルダウン選択)
ADMINUSERNAME	仮想マシンのユーザ名
ADMINPASSWORD	仮想マシンのパスワード
DNSNAMEFORPUBLICIP	DNS名

### サブスクリプション

有効なサブスクリプション	サブスクリプション(プルダウン選択)
--------------	--------------------

### リソースグループ

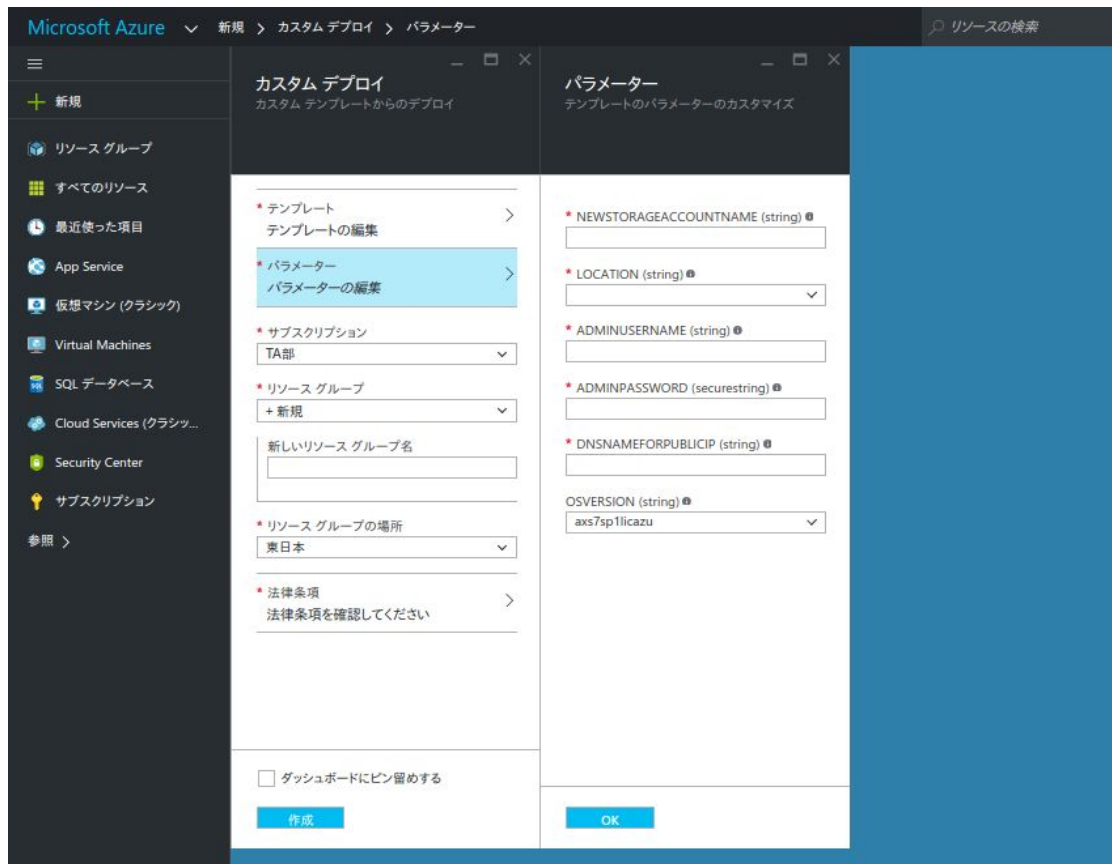
リソースグループ名	任意のリソースグループ名(プルダウン選択) (新規を選択した場合は重複しないリソースグループ名)
-----------	---

### リソースグループの場所

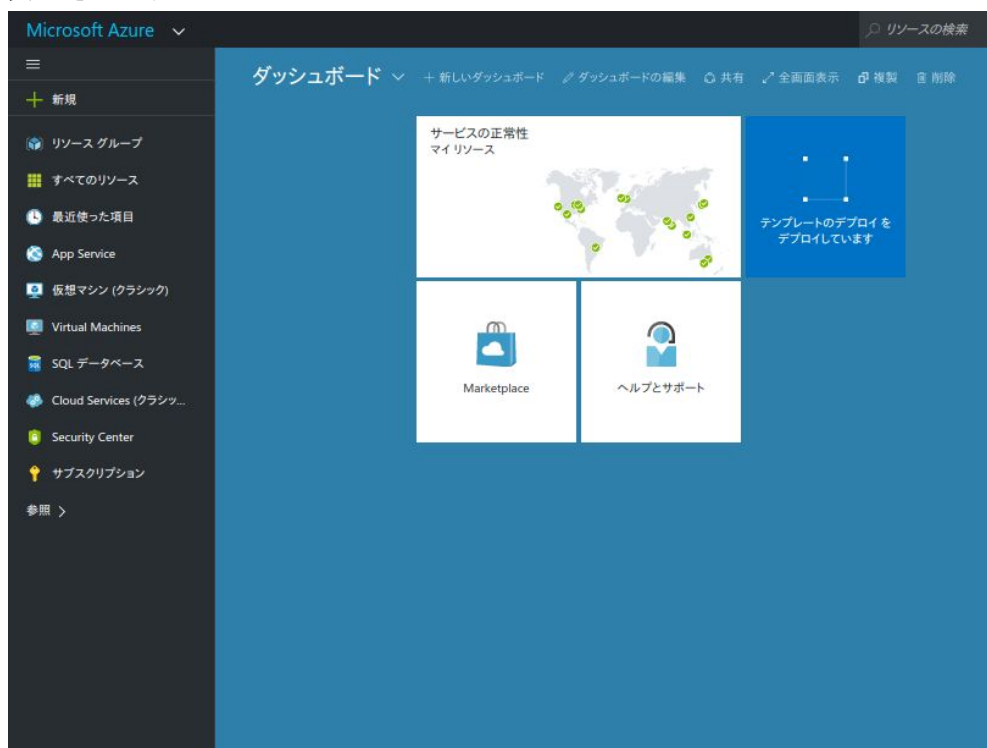
リソースグループの場所	パラメータで選択したリージョン(プルダウン選択)
-------------	--------------------------

### 法律事項

入力事項なし	内容を確認し[OK]をクリック
--------	-----------------



入力項目と確認事項を全て完了し、下部の[作成]をクリックするとデプロイが開始される。  
 ([ダッシュボードにピン留めする]にチェックを入れるとダッシュボードにデプロイ状況が表示される)



## 2.3 デプロイしたHatoholへのログイン

デプロイが成功すると、WEBブラウザ上から以下のURLでHatoholへアクセスが可能になる。

<http://<仮想マシンのパブリックIP>/hatohol>

アクセスに成功すると以下の画面が表示される。



以下のユーザ名/パスワードでログインする

ユーザ名 : admin

パスワード : hatohol

## 3 Azure アラート機能の統合

Azureでは特定のリソースに「アラートルール」を設定することで、しきい値又はイベント発生による通知が可能である。本テンプレートのHatoholでは「アラートルール」の通知先に「WEB Hook」を選択出来るものに対して設定を行うことで、Hatoholのイベント画面上への通知が可能となる。

### 3.1 Hatohol WEB画面上の設定

HatoholのWEB画面へログインし、以下の設定を行う。

画面上部の「設定▼」をクリックし、プルダウンの中から「監視サーバ」を選択する



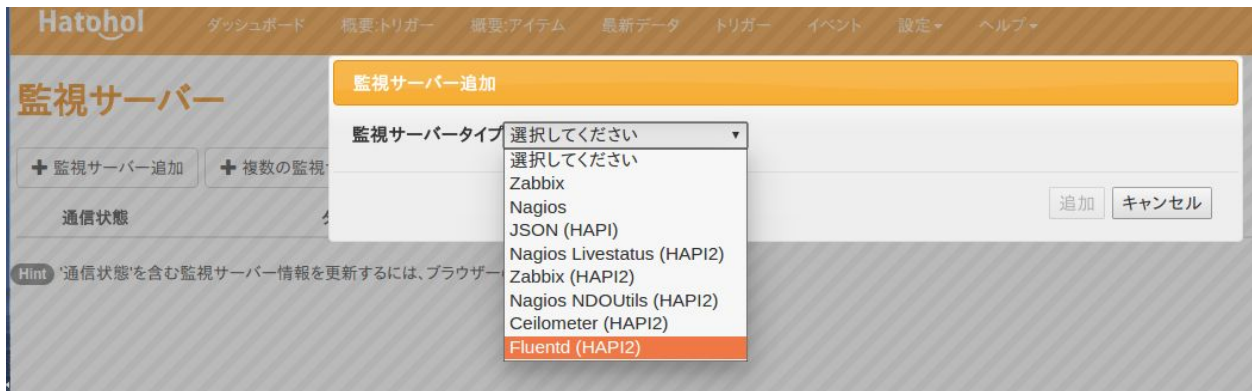
The screenshot shows the Hatohol dashboard interface. At the top, there is a navigation bar with 'Hatohol' logo and several menu items: 'ダッシュボード', '概要:トリガー', '概要:アイテム', '最新データ', 'トリガー', 'イベント', '設定▼', and 'ヘルプ▼'. A user profile 'admin' and a '監視中' button are on the right. The main content area is titled 'ダッシュボード' and contains several sections: 'グローバルステータス' with a table of parameters (e.g., 'サーバー数 [障害あり]' with value '0/0'), 'システムステータス' with a table of server health (e.g., '監視サーバ', 'グループ', '致命的な障害', '重度の障害', '軽度の障害', '警告', '情報', '未分類'), and 'ホストステータス' with a table of host health (e.g., '監視サーバ', 'グループ', '障害なし', '障害あり', '合計'). A dropdown menu is open from the '設定▼' button, with '監視サーバ' circled in red. Other items in the menu include 'アクション', 'グラフ', 'インシデント管理', 'ログ検索システム', 'ユーザー', '深刻度設定', and 'インシデントラベルの設定'.

画面左上の「監視サーバ追加」をクリックする



The screenshot shows the '監視サーバ' (Monitoring Servers) page in Hatohol. The navigation bar is the same as in the previous screenshot. The main content area is titled '監視サーバ' and contains a row of action buttons: '+ 監視サーバ追加', '+ 複数の監視サーバを追加又は更新', '× 監視サーバ削除', and '⌂ 監視サーバトリガー再読込'. Below the buttons is a table with columns: '通信状態', 'タイプ', 'ホスト名', 'IPアドレス', 'ニックネーム', and 'マップ'. A 'Hint' box at the bottom states: 'Hint '通信状態'を含む監視サーバ情報を更新するには、ブラウザのリロード機能をご使用ください.'

「監視サーバータイプ」をクリックし、プルダウンから「Fluentd(HAPI2)」を選択する



設定項目を入力し、[追加]をクリック(試用版ではニックネーム以外の設定は固定)

ニックネーム	任意のニックネーム
リトライ間隔(秒)	任意のリトライ間隔
パッシブモード	チェックを入れる
ブローカーURL	amqp://hatohol:hatohol@localhost/hatohol
静的キューアドレス	test



監視サーバー一覧に作成した監視サーバが登録されていることを確認する。



## 3.2 Hatohol サーバの設定

HatoholのAzureアラート受信機能はデプロイ直後は無効となっている為、CUIの操作により起動する必要がある。Azureは仮想コンソールを持たない為、任意のSSHクライアントでAzure上の仮想マシンへログインする

例 (\*Linuxのターミナルの場合)

```
~$ ssh <デプロイ時に設定したユーザ名>@<仮想マシンのIP>
The authenticity of host '...' can't be established.
ECDSA key fingerprint is ef:....
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes
miracle@rinatest01.japaneast.cloudapp.azure.com's password:<デプロイ時に設定したパスワード>
....
[test@MyHatoholVM ~]$
```

仮想マシンへのログイン後、以下のコマンドをターミナル上で実行する。

```
[test@MyHatoholVM ~]$ sudo systemctl start azure_trapper.service
[test@MyHatoholVM ~]$ sudo systemctl start hap_fluentd.service
```

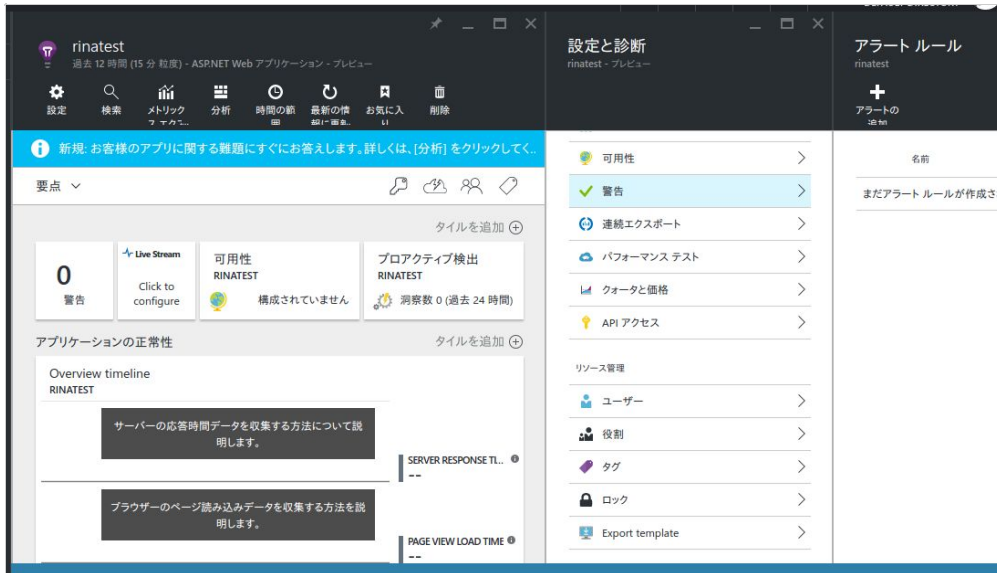
\*最初のコマンド実行時にSSHログイン時のパスワードを要求されるため入力する。

## 3.3 Azure アラートルールの設定

任意のリソースでアラートルールを作成する。(本テキストではApp Serviceを使用)

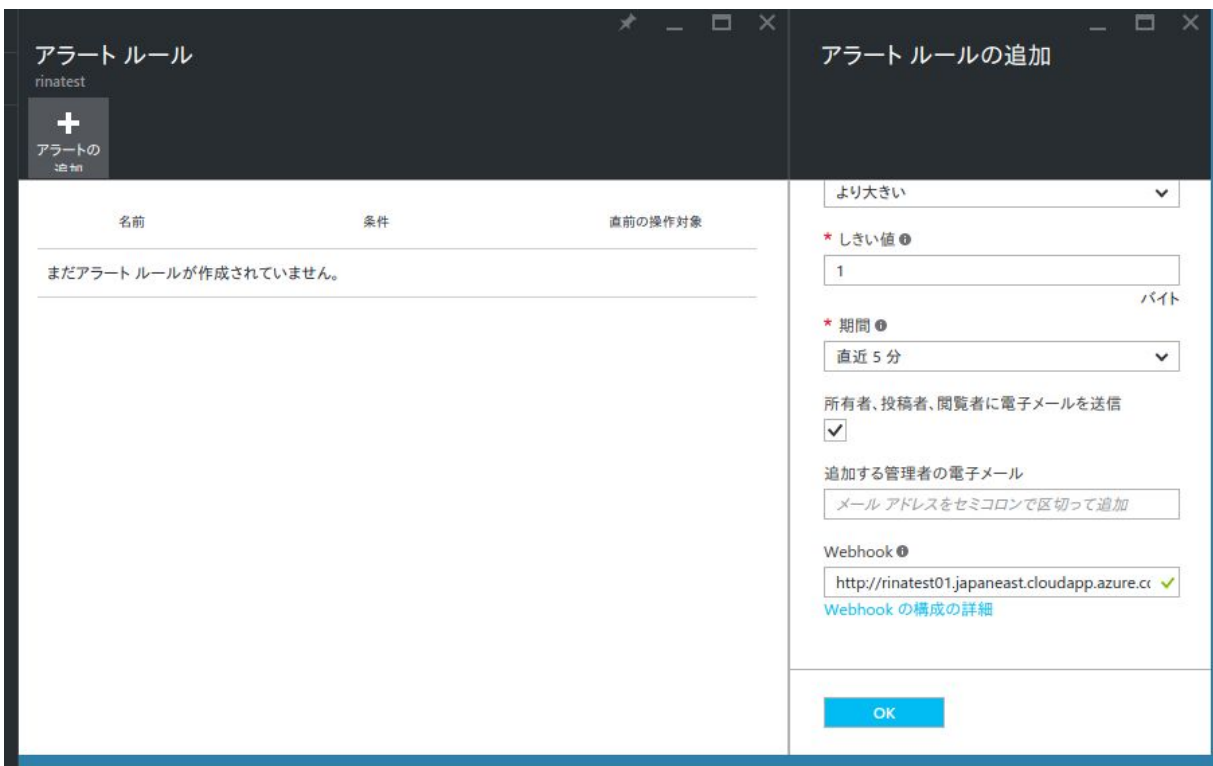
対象リソースの[設定]から[警告]を選択する





[アラートルールの追加]をクリックし、任意のアラート設定を行った上で設定項目下部の”Webhook”の項目に以下を入力する。

`http://<hatoholサーバのIP>:8000`



アラートルールで設定した条件が満たされると、Hatoholへその内容が通知される。

Hatohol [ダッシュボード](#) [概要:トリガー](#) [概要:アイテム](#) [最新データ](#) [トリガー](#) **イベント** [設定](#) [ヘルプ](#) admin 監視中

## イベント

最終更新: 2016/05/17 20:33:09 [設定](#)

絞り込み結果 (1) [絞り込みオプション](#)

サマリー

全て (31日間)

2016/04/16 20:33:00 - 現在時刻, 未対処, 全て (31日間)  概要を短縮

対処	ステータス	深刻度	期間	監視サーバー	ホスト名	概要
<input type="checkbox"/> 未対処	<input checked="" type="radio"/> 不明	未分類	2016/05/17 20:31:48	azure	serviceplan80e38b54-9a50	[Azure_test] <description= test> <status= Activated>

以上

### 本書について

本ドキュメントは、監視統合ツール「Hatohol」をMicrosoft Azureへデプロイする手順とMicrosoft Azureのリソース監視機能の情報をHatohol上に通知するための手順を記したものであり、本ドキュメントに関する内容について、ミラクル・リナックス株式会社が動作を保証するものではありません。

記載された会社名および製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。